

## チャレンジプロジェクト（新規案）

## 新プロジェクト 1（案）

## 農業体験（収穫体験）が身近にできるまちづくりプロジェクト

## ■背景・現況

- ・市内では、農業者と幼稚園が連携したさつまいも堀り、小学校と農業者や地域が連携した田植えや稲刈り体験など、農業者自らが農業イベントを企画・実施する事例がみられる。
- ・小・中学校においては、「食に関する指導の全体計画」を年度ごとに立案することが定められており、食に関する取組が各学校で促進される動きがある。
- ・また、「農業体験（収穫体験）をしたい」という市民ニーズは高い。
- ・農業者が農地を維持するためには、「農地周辺の住民の農業に対する理解を得ること」が重要であり、農業者と地域住民の交流の重要性が増している。

## ■目的

- ・農業体験（収穫体験）による農地の保全・活用
- ・各学校における食に関する取組の推進
- ・地域住民の農業への理解の醸成と農業者が農業を継続しやすい環境づくり
- ・市内農産物の販売機会の拡大と地産地消の推進

## ■取組展開

- ①さつまいも堀りに関する農作業の負担、収穫体験時のポイント等に関する情報発信  
例：農業者と学校側の役割分担、準備物、安全管理等を手引きや事例集として整理し負担や収益等を見える化する、実施団体どうしの情報交換会の開催
- ②新たに農業体験（収穫体験）に取り組む農業者に対する支援  
例：農業者が新たにさつまいも堀りに取り組む場合に、苗代の一部を支援する
- ③市内で農業体験（収穫体験）に取り組む農業者に関する積極的な情報発信  
例：市広報誌、市 HP、市内農業体験（収穫体験）MAP の作成等
- ④さつまいも堀りを実施したい幼稚園・保育園、小学校等と農業者、あるいはサポーターとのマッチング

## ■参考：現計画との関連

- ・チャレンジ PJ④ 豊中市産農産物の購入機会の拡大（拡充）
- ・3-1-① 豊中農業・農地に関する市民への啓発（継続）
- ・3-1-④ 新鮮で安全な農産物の提供と地産地消の推進（継続）
- ・3-2-② 田植え・稲刈り体験の推進（継続）

## 新プロジェクト2（案）

### 持続可能な市民農園の運営支援及び新規市民農園開設支援プロジェクト

#### ■背景・現況

- ・市内の市民農園は、定員を超える申し込みがあり市民の利用ニーズは高いが、市民農園は減少傾向にある（令和元年 21 か所→現在 19 か所）。  
※現計画における市民農園の設置目標は 26 か所
- ・市内の市民農園は運営開始から約 30 年が経過し、オーナーの高齢化が進んでいる中で、管理業務の負担感が増している。
- ・平成 30 年度の税制改正により、自ら所有する農地において特定農地貸付けにより市民農園を行っても納税猶予が継続することとなり、制度上は生産緑地を市民農園として活用しやすくなっている。
- ・市民農園は都市農地の保全・活用のために有効な手法であるが、市民農園の開設時のコスト、管理運営の不安などから、「新たに市民農園を開設したい」と考える農業者に二の足を踏ませている。

#### ■目的

- ・持続可能な市民農園運営の仕組みづくりと継続率の向上
- ・都市農地の保全・活用を推進
- ・市民農園の開設目標の達成
- ・農を楽しむ市民の増加（利用ニーズへの対応）

#### ■取組展開

- ①「市民農園オーナー会議」開催による、課題把握と継続意向調査の実施
- ②市民農園を継続的に運営していくための運営費の一部を支援  
（例：2年ごとに行う区画の整備等に必要な費用の一部支援等）
- ③市民農園の新規開設にかかる費用の一部支援（水道の敷設等）
- ④新規に市民農園開設を考える農業者に向けて運営のノウハウを提供  
（例：ベテラン市民農園オーナーから、管理運営に関するノウハウや負担（作業、時間、金額等）を聞き取り、新たに市民農園を開設したい農業者に伝え不安を解消する（手引きの作成）等）
- ⑤利用者に向けたマナー向上のための周知促進（定期的な連絡等）
- ⑥現在の仕組みの見直し検討  
（例：区画を拡げる、道具置き場の設置、定期的な講習会の実施等）

#### ■参考：現計画との関連

- ・1-1-② 農地利用の最適化推進（拡充）
- ・2-2-④ 都市農地の貸借円滑化（拡充）
- ・3-2-① 市民農園の整備・運営支援（継続）

## 新プロジェクト3 (案)

### 「新しいコミュニティ型市民農園」のモデルづくりプロジェクト

#### ■背景・現況

- ・近年は、従来型の市民農園とは異なり、農家に限らない多様な主体が運営し、地域交流や環境学習、食育の場として農地を活用する「コミュニティ農園」が注目されている。  
テーマの例：健康づくり、仲間づくり、福祉事業食の循環、SDGs、子ども食堂…
- ・市では、給食の食べ残しに街路樹などの剪定枝を混合させた堆肥「とよっぴー」を製造する堆肥化事業を行っており、農業体験圃場では市民を巻き込んだ環境学習等の取組を行っている（NPO法人花と緑のネットワークとよなかが市の委託事業により運営）。
- ・さらには、市では、「とよなか夢基金助成事業」や「協働事業市民提案制度」を創設しており、市民活動団体が実施したいことを応援する仕組みがある。

#### \*コミュニティ農園について

##### ■コミュニティ農園が提供するサービスの例

###### ①参加者のコミュニティ形成サポート

- ・野菜栽培やイベントなどを参加者どうしが協力しあって活動できるための場づくりやコミュニケーションの促進を積極的に行う。
- ・例えば、1つの区画に対して複数人が協力しあい、お互いの知識や時間を出し合いながら野菜の栽培を行うなど。

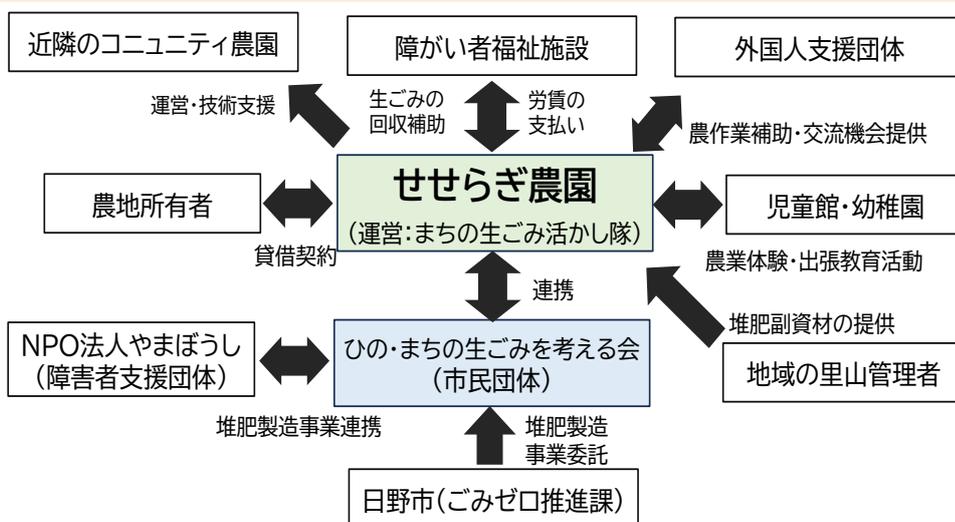
###### ②農、食、環境、ものづくりの学びの機会の提供

- ・地域内外の様々な分野の専門家と連携し、より高度な学びや経験を習得できる機会を提供する。
- ・例えば、地元の料理人などを交え、食に関する専門的な学びの場の提供など。

###### ③地域と連携し、福祉・教育的な農園の活用

- ・例えば、地域の町内会や医療・福祉事業者と連携し、高齢者の居場所作り、子ども食堂や子ども向けの農園体験教室、障がい者向けの農園貸出に取り組むなど。

##### ■せせらぎ農園(東京都日野市)



注：関係図はまちを変える都市型農園(学芸出版社)、農水省事例集等を参考に作成  
写真：特別非営利活動法人寺島-玉ノ井まちづくり協議会



## ■目的

- ・市民活動団体と連携した農地の保全・活用
- ・都市農地の新たな活用方法の創出  
※将来的には、従来の市民農園と並ぶ農地保全の新たな手法として確立・普及を目指す
- ・「とよっぴー」を核とした市民への豊中農業の理解醸成

## ■取組展開

- ①農や食をテーマに活動する市民活動団体のニーズ把握  
(例：コミュニティ政策課、公園みどり推進課、健康推進課、教育委員会等とも連携した市民活動団体へのサウンディング調査等)
- ②市民活動団体を核とした新しいコミュニティ型市民農園の検討  
(例：スキームの検討、農業者や関係者とのマッチング、助成事業の活用等)
- ③新しいコミュニティ型市民農園のモデル実施

## ■参考：現計画との関連

- ・チャレンジPJ⑤ 市民団体と連携した農地の保全・活用（継続）
- ・3-1-⑥ 「とよっぴー」を活用した取組の推進（継続）
- ・3-2-① 市民農園の整備・運営支援（継続）

## 新プロジェクト4（案）

### 「新規就農希望者等の育成と農地のマッチング」の仕組みづくりプロジェクト

#### ■背景・現況

- ・市では、令和3年度より体験農園を運営しており、利用者のうち就農に興味がある3名に対しては、農業技術支援や朝市での販売サポート等を行っている（豊中ファーマーズが市の委託事業により管理運営）。
- ・また、市内には、市内農業者の農作業を長年手伝う市民（農作業のスキルや経験が一定ある市民）が一定数いると考えられる。
- ・さらには、アンケート結果より、市民農園の利用者のうち約9割は継続的な利用を希望し、現在の区画面積（15㎡）を拡げたい利用者は約半数程度いることが考えられる（就農したい方は約1割）。
- ・その他にも、例えば、会社等で働きながら農業を行う週末農業や半農半Xなどを実施したいニーズも一定あると考えられる（市内の新規就農者の中にも半農半Xで農業を行っている方がいる）。
- ・都市農地貸借法により、生産緑地の貸借がしやすくなっているが、農業者に十分な情報が届いておらず、生産緑地の貸借に対して慎重な農業者が多い。

#### ■目的

- ・新規就農者等の確保・育成のためのステップ作り
- ・農地保全に向けた情報提供
- ・市窓口による農地の円滑な貸借（就農希望者や意欲的な農業者に対する農地のマッチング）

#### ■取組展開

- ①新規就農希望者等のニーズ把握  
（例：市内農地での農作業を手伝っている市民、市民農園利用者へのヒアリングなど）
- ②現在の体験農園事業をベースとした新規就農希望者等の育成に向けた仕組みづくり  
（例：プログラム化などのスキーム検討）
- ③さまざまな機会における市内農業者に対する都市農地制度の情報提供
- ④農地貸借に関する情報の一元的な把握、マッチングさせる仕組みの検討

#### ■参考：現計画との関連

- ・1-1-① 農地保全に向けた農地所有者への情報提供（継続）
- ・1-1-② 農地利用の最適化推進（拡充）
- ・1-2-② 農業経営者協議会等との連携推進（継続）
- ・2-2-④ 都市農地の貸借円滑化（拡充）